



園の畑では、夏野菜が次々と実をつけています。それに負けじと雑草もぐんぐん育ち、子どもたちは草取りにも張りきって取り組んでいます。収穫したばかりの栄養たっぷりの野菜たちは、給食の献立にも登場します。おうちでは苦手な野菜も、お友だちと一緒に食べると不思議と「おいしいね!」の声。きっと、みんなで食べる魔法がかかっているのでしょうね。

蒸し暑い日が増え、汗をかいてあせもがしやすい季節になってきました。園では、こまめな着替えやシャワー・沐浴で汗を流し、熱中症予防にも取り組んでいます。水分補給をしっかりと行い、涼しい場所で遊んだり、エアコンを上手に使ったりしながら、快適に過ごせるよう工夫しています。

そして、今月はいよいよプールが始まります。水に親しみ、気持ちよさや楽しさを感じられるよう、各クラスで目標をもって活動していきます。この時期は気温の変化も大きいので、ご家庭でも毎日の検温と体調の確認をよろしく願いいたします。

暑い夏を元気に乗りきるためには、「早寝・早起き・朝ごはん!」の習慣が何より大切です。ご家庭でも、生活リズムを整えることを意識していただければと思います。

—第25回 SUNSUNまつり—

★大鼓★
毎日らいおん組さんのお部屋から聞こえてくる、元気いっぱいの大鼓の音に「いよいよ夏が来たな!」と感じさせてくれます。7月19日のSUNSUNまつりに向けて、みんなで大鼓の練習を始めてから、あっという間に1ヶ月が経ちました。練習が始まったばかりの頃は、小さな手には少し大きく感じるパチの持ち方に戸惑ったり、なかなかみんなとタイミングが合わなかったり…。でも今では、自分たちのパチをぎゅっと力強く握りしめ、「ドン!ドン!」と心をついて、迫力満点の音を響かせることができるようになりました!背筋をピンと伸ばして真剣な表情で叩く姿は本当にかっこよくて、見違えるほど頼もしくなりました。

本番では、練習の成果を存分に発揮してくれることと思います。らいおん組さんのキラキラ輝く勇姿を、どうぞお楽しみに!温かい応援をよろしく願います。



- 2(水) プール開き
- 4(金) 七夕会(誕生)
- 7~11 身体測定
- 18(金) おみこしかつぎ(らいおん)
- 19(土) SUNSUNまつり
- 23(水) 体育指導(幼児)
- 29(火) 職員園内研修
- 30(水) 避難訓練

8月の予定

- 1(金) 夏を楽しむ会
- 5(火) 避難訓練
- 6(水) 音楽指導(幼児)
- 22(金) お誕生日会
- 25(月) 体育指導(幼児)
- 25~29 身体測定
- 28(木) プール納め

おうちで楽しむ夏あそび



夏はおうちでも楽しいあそびがたくさんできます。ペランダやお風呂場での水遊びは、タライに水を張るだけでも大喜び!ペットボトルやお玉など、身近な道具で工夫次第で大冒険に早変わりします。また、氷におもちやを閉じ込めて“宝さがし”もおすすめ。涼しく、感触も楽しめますよ。お部屋では、うちわ作りや風鈴の制作など、涼を感じる工作も◎。お子さんと一緒に季節を感じながら、のんびりと楽しい時間を過ごしてみてくださいね。無理なく、無理せず、笑顔いっぱい“おうち夏時間”になりますように。

大きな笹を目の前に、七夕飾り作りに夢中の子もたち。イメージを広げながら作り出す喜びを、心と体で感じとっているようです。子どもたちの夢や思いがあらわれ出している七夕飾り。七夕の夜には、天の川のようにキラキラと輝くことでしょう。

【緊急・重要】駐車場での重大事故を防ぐための切実なお願い

先日、鳥根県出雲市の保育園の駐車場で、1歳の男の子が車にはねられ、尊い命が失われるという、大変痛ましい事故が起きました。車を運転していたのは同じ保育園に通う子どもの保護者で、過失運転致傷の現行犯で逮捕されました(その後、容疑を過失運転致死に切り替え)。この事故の報道に触れ、皆様の中にも心を痛められた方が多くいらっしゃるかと存じます。亡くなられたお子様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様には深く哀悼の意を表します。

この事故は、決して他人事ではありません。いつ、私たちの園で同じような悲劇が起きてもおかしくない、という強い危機感を抱いております。

以前にも「保育園駐車場ご利用についてお願い」として、文書にて注意喚起をさせていただきましたが、大変残念なことに、その後も駐車場でお子様から目を離してしまう場面や、お子様が走り回ってしまう状況が度々見受けられます。職員がその都度お声がけをさせていただいておりますが、正直なところ、「ヒヤリ」とする場面は後を絶ちません。

「少しの時間だから」「うちの子は大丈夫」そういった油断が、取り返しつかない事故に繋がるということ、私たちはこの悲しい事故から学ばなければなりません。

子どもの視野は大人の半分ほどしかなく、興味のあるものに夢中になると、周りが見えなくなり、一瞬で走り出してしまいます。一方で、運転席からは、小さな子どもの姿は死角に入りやすく、存在に気づくことさえ困難な場合があります。保護者の皆様は「安全」だと思っている駐車場は、子どもにとっては危険に満ちた場所なのです。

駐車場で数秒の立ち話、車内に忘れ物を取りに戻るほんのわずかな時間。その一瞬に、お子様の人生を、そして保護者の皆様の未来を根こそぎ奪う悲劇が潜んでいます。

どうか、これまでの「お願い」を、単なる園からのルールではなく、「我が子の命を守るための、保護者としての絶対的な責任」として受け止めていただけないでしょうか。

つきましては、改めて以下のことを徹底していただきますよう、強く、強くお願い申し上げます。



【お子様の命を守るための、駐車場でのお約束】

1. 車から降りたら、まずお子様の手を「つなぐ」のではなく、「固く、強く」握ってください。
お子様が振りほどくことのないよう、手首をしっかりと握り、絶対に離さないでください。上のお子様にも、必ず手をつなぐよう、ご家庭で繰り返しお話しください。
2. 車に乗せ降ろしする際は、保護者が先に降り、安全を確保してからお子様を降ろしてください。
決して、お子様を一人で先に車から降ろさないでください。
3. 駐車場では、お子様から1秒たりとも目を離さないでください。
携帯電話の操作や、保護者同士での会話は、お子様への注意が散漫になる最大の原因です。降園後の会話は、園の玄関内や、駐車場以外の安全な場所をお願いいたします。皆様の楽しそうな会話が、お子様の注意を逸らし、悲劇の引き金になる可能性もございます。
4. 駐車場内は、「時速5km以下」の最徐行を厳守してください。
いつ、どこからお子様飛び出してきたとしても、ブレーキを踏めば「即座に」停止できる速度です。動いている車は、それだけで凶器になり得ます。
5. 送迎が終わりましたら、「速やか」にご移動ください。
駐車場は、子どもたちの安全な登降園のための場所です。長時間の駐車は、他の車の視界を妨げ、危険を増大させます。